

提案するアイデア2「映像の中の九州のまちワールド」

1 背景、趣旨

フィルムコミッションなどを標榜し、映画の撮影に街や建物を活用する取り組みを進める地域があり近年盛んにおこなわれているが、活用されればそれっきりのところがほとんどである。九州はどうであろうか。テレビドラマなどと共に映像や画面に登場した街や建物を収集、保存、公開する仕組みがあればよい。振り返るなどしてその息吹を看取り明日の街づくりに資せればよい。

2 内容

過去の映画やテレビに登場する街や建物、庭や木々などが映る、その場面をなず収集する。収集する際、出演者や撮影などのエピソードなどもあれば併せて収集する。単位は県あるいは大きな市ごとになるであろうか。

自治体の地域振興に関するセクションとタイアップして収集にあたる方法もあり、それら収集した映像フィルムを保存する。図書館に映像ライブラリーセクションを設け保存する方法がある。保存した映像フィルムは目録情報として保存し、インターネットなどを含め公開に努める。

保存している映像フィルムは適宜住民に公開する方策を講じる。情報公開制度を活用するもよし、閲覧や貸し出し制度によるものでもよい。「映画の中の博多」とか「テレビの中の八女」などとタイトルをつけ、エピソードを含む語り部をつけて定期的に公開する手法を併せて採用する。

現在進行中のもの、将来進行するものについても同様にして収集、保存、公開を図ってゆく。

3 効果

当時の街や建物そのもの、街の息吹などを看取するとともに、映像への出演者や撮影者のエピソードなどを知ることができ、街への親しみや愛着が格段と増し明日へのまちづくりにつながる可能性がある。街へのもう一つの見方が提供され、ハードとソフト両面から明日のまちづくりの参考にできる。